



## リトグラフ

水と油の反発作用による平版です。  
紙に描くのとほとんど同じイメージを刷ることができます。

---

### 個人で用意するもの

---

アルミ板(イメージサイズより各辺10cm程度大きなもの)  
描画材(リトクレヨン、ダーマトグラフ、解墨)  
弁柄紙(紙に弁柄をエタノールで溶き塗布したもの)  
ラズン(販売あり)  
タルク(販売あり)  
製版液(アラビアゴム液+リン酸1%)  
プリントクリーナー(販売あり)  
チンクター(販売あり)  
製版液2(アラビアゴム液+リン酸2%)  
紙  
プリントインク(販売あり)

※「販売あり」は、美術館友の会で少量販売もしています。

---

### お貸しできるもの

---

平版プレス機(90×80cm)  
製版墨ローラー  
ローラー  
乾燥棚

---

### 作業工程

---

#### 描画

---

#### 1. イメージサイズの枠線をカッターで引く

イメージサイズより各辺10cm程度大きなアルミ板を用意し、イメージサイズを解るようにカッターで印を入れておきます。

#### 2. T字見当をつける

T字見当をつけます。

### 3. イメージの画面の外側にアラビアゴム液(SK液)を塗る

余白部分に描画材が付かないように、アラビアゴム液(SK液)で保護膜をはります。  
大き目の刷毛で1のイメージ枠の中に入らないように塗ります。

### 4. 描画する

リトクレヨン、ダーマトグラフ、解墨などの油性のもので描画します。

※下絵をトレースするときは、油性のカーボン紙ではなく、弁柄紙(紙に弁柄をエタノールで溶き塗布したもの)を使用します。

※解墨は水やテレビン(プリントクリーナー)で好みの濃さに解きます。

---

## 第一製版

---

### 5. 描画部分にラズンをつける

白い粉状のラズンを描画部分に振り、布で描画全面にすりこみます。

### 6. 描画部分にタルクをつける。

ラズンと同様に描画部分に振り、布ですりこみます。

ラズン・タルクには、描画部分の定着と酸から版を保護する役割があります。

### 7. 製版液をつける。

製版液(アラビアゴム液+リン酸1%)をスポンジで素早く均一に塗布します。

何度もこするとダマになったり不均一になるので、素早く塗布します。

### 8. 乾拭きをする。

製版液が乾ききらないうちに、ウエスで描画部分がとれないように、叩くように乾拭きして乾かします。

あまり強くこするとゴム膜が薄くなりすぎ、汚れの原因になるので注意します。

### 9. 12時間放置

液が作用するように12時間以上放置します。

第二製版は、刷り当日に行います。

---

## 第二製版～刷り(準備中)

---